

「讚美」の多様な内容に対応する主な詩篇のリスト

※おことわり：このリストは、詩編と「讚美」における、内容の多様性の類似を示すためのもので、挙げられている項目は、様々な「讚美」の内容にあわせて選ばれたものです。

讚美 100、103、113、134、150
祈り 4、25、61、72、90、143
告白 23、46、91、114、115、130
感謝 92、103、136、138
悔い改め、32、51、69、143
教え 1、2、15、19、36、49
伝道 66、96
嘆き 137

ここに見られる豊かな多様性は、1539年にカルバンが最初の詩篇歌集を編集したときにも意識されていたようです。上のリストの中で、赤字*と緑字**のものが1539年の詩篇歌集に収められていた詩編ですが、さまざまな内容のものが含まれていることが分かります。カルバンも、豊かで多様な詩篇の内容を意識しながら、会衆のためにこの詩篇歌集を編集したと考えられます。

*1539年に刊行された最初の詩篇歌集で、カルヴァン自身が韻律化したもの。

25、36、46、91、113、138（十戒、シメオンの賛歌、使徒信条）

**クレマン・マロが韻律化した詩篇。

1、2、3、15、32、51、103、114、115、130、137、143